



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社FFRI

上場取引所 東

コード番号 3692 URL <http://www.ffri.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴飼 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 田中 重樹

TEL 03-6277-1518

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	780		100		100		87	
29年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 88百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	10.68	10.67
29年3月期第2四半期		

(注) 平成30年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,106	977	46.4
29年3月期			

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 977百万円 29年3月期 百万円

(注) 平成30年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期の数値は記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,765		280		280		234		28.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1 社 (社名) FFRI North America, Inc. 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,178,000 株	29年3月期	8,120,400 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	株	29年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	8,166,544 株	29年3月期2Q	8,078,262 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 従業員数	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるサイバー・セキュリティ業界は、多発するサイバーインシデントや2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックを控えてサイバー攻撃の増加が予想されることから政府・官公庁やメディアによりサイバー・セキュリティの啓発活動が活発に行われています。しかしながらユーザーがどうすればよいのかといった有効な具体策が語られることは少なく、サイバー脅威の情報に触れる機会が増えた現時点においても実際にこれらの対策に動き出すことができているのは組織内にIT部門を抱えているような大企業が中心であり、これ以外の層ではサイバー・セキュリティの必要性は理解しているものの、セキュリティ対策導入の動きは鈍い状況となっております。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

セキュリティ・プロダクトにおきましては、法人向けでは最近の次世代セキュリティ分野における市場動向として、他社においてAIやふるまい検知機能などを全面にだした製品・サービスがリリースされてきております。それらの製品・サービスは玉石混交であり、どの製品・サービスが自社に適切かといった正しい製品選定能力がユーザーに求められてきております。このような状況でユーザーが当社製品を認知する前に他社製品を導入されてしまうこともあり、当社グループでは営業活動や、イベント・セミナー等にて当社製品の訴求活動を強化しております。また、当社グループはこれまで首都圏を中心に営業活動を行ってまいりましたが、営業活動強化の一環として首都圏以外の地域においてもユーザーへの提案及び販売パートナーへの支援、営業担当の配置等を実施しております。これらの活動の結果、法人向けの売上は全体として概ね計画通りに推移しました。

海外展開につきましては、FFRI North America, Inc. において北米地域における営業活動の中、いくつかのセキュリティ・ベンダーとの間で販売店契約を締結するなど製品拡販に向けて取り組んでおります。また、セキュリティイベントでのブース出展など、FFRI yaraiのPR及び拡販を実施しました。

個人向けにつきましては、FFRI安心アプリチェッカーの継続利用ユーザーが引き続き想定より上振れて推移しております。また、新たな販路としてイクス株式会社を通じた展開も進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるセキュリティ・プロダクトの売上高は738,074千円となりました。

セキュリティ・サービスにおきましては、車載セキュリティに関する顧客からの依頼や当社グループによる提案が活発化しており、これらの売上が増加した他、教育・研修サービスの提供により順調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間におけるセキュリティ・サービスの売上高は42,029千円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高780,104千円、営業利益100,452千円、経常利益100,581千円、親会社株主に帰属する四半期純利益87,221千円となりました。

なお、当社グループは平成30年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。(以下「(2) 財政状態に関する説明」においても同じ。)

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、2,106,487千円となり、流動資産合計1,996,781千円、固定資産合計109,706千円となりました。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金1,836,350千円、売掛金74,229千円であります。

固定資産の内訳は、有形固定資産18,036千円、無形固定資産53,800千円、投資その他の資産37,869千円であります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、1,129,128千円となり、流動負債合計660,680千円、固定負債合計468,448千円となりました。

流動負債の主な内訳は、前受収益548,603千円、未払金62,899千円であります。

固定負債の主な内訳は、長期前受収益457,185千円であります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、977,359千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,836,350千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は102,683千円となりました。この主な要因は、売上債権の回収による増加56,886千円、売上増加に伴う長期前受収益の増加44,847千円、税金等調整前四半期純利益の計上100,581千円、法人税等及び未払消費税等の支払69,334千円、未払金の減少33,134千円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は29,795千円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,978千円、無形固定資産の取得による支出27,782千円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果取得した資金は7,968千円となりました。この要因は、ストック・オプションの行使による株式の発行による収入7,968千円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月15日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

（4）従業員数

当社グループは日々拡大するサイバー脅威に対抗するため、当社製品の強化及び車載セキュリティを始めとするIoTなど新たな分野の研究開発及びこれらの製品・サービスを広くユーザーの皆様にお届けするための営業活動の強化を目的に当社及び子会社のFFRI North America, Inc. において採用を行った結果、非連結であった当社の前事業年度末に比べて13名増加し、92名となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,836,350
売掛金	74,229
製品	867
仕掛品	7,704
前払費用	28,100
繰延税金資産	49,249
その他	278
流動資産合計	1,996,781
固定資産	
有形固定資産	18,036
無形固定資産	
ソフトウェア	49,903
ソフトウェア仮勘定	3,677
その他	220
無形固定資産合計	53,800
投資その他の資産	37,869
固定資産合計	109,706
資産合計	2,106,487
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	1,116
未払金	62,899
未払費用	6,885
未払法人税等	14,790
未払消費税等	13,891
預り金	12,493
前受収益	548,603
流動負債合計	660,680
固定負債	
繰延税金負債	1,835
資産除去債務	9,427
長期前受収益	457,185
固定負債合計	468,448
負債合計	1,129,128
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	285,315
資本剰余金	260,315
利益剰余金	430,443
株主資本合計	976,075
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	1,284
その他の包括利益累計額合計	1,284
純資産合計	977,359
負債純資産合計	2,106,487

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	780,104
売上原価	89,538
売上総利益	690,565
販売費及び一般管理費	590,112
営業利益	100,452
営業外収益	
受取利息	8
受取手数料	109
受取保険金	61
営業外収益合計	179
営業外費用	
為替差損	50
営業外費用合計	50
経常利益	100,581
税金等調整前四半期純利益	100,581
法人税等	13,359
四半期純利益	87,221
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,221

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	87,221
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	1,284
その他の包括利益合計	1,284
四半期包括利益	88,506
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	88,506
非支配株主に係る四半期包括利益	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	100,581
減価償却費	14,575
受取利息	△8
為替差損益(△は益)	50
売上債権の増減額(△は増加)	56,886
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,673
未収入金の増減額(△は増加)	12
仕入債務の増減額(△は減少)	△90
前払費用の増減額(△は増加)	△3,724
長期前払費用の増減額(△は増加)	△101
未払金の増減額(△は減少)	△33,134
未払費用の増減額(△は減少)	1,859
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△7,432
未払消費税等の増減額(△は減少)	△45,629
預り金の増減額(△は減少)	6,446
前受収益の増減額(△は減少)	△2,090
長期前受収益の増減額(△は減少)	44,847
その他	1,004
小計	126,380
利息の受取額	8
法人税等の支払額	△23,705
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>102,683</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,978
無形固定資産の取得による支出	△27,782
敷金の差入による支出	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,795
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	7,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,234
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	82,090
現金及び現金同等物の期首残高	1,754,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,836,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、FFRI North America, Inc. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、サイバー・セキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。